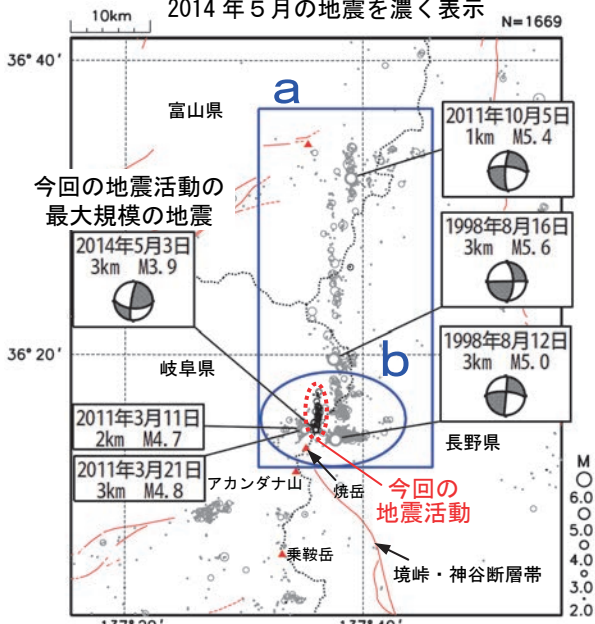


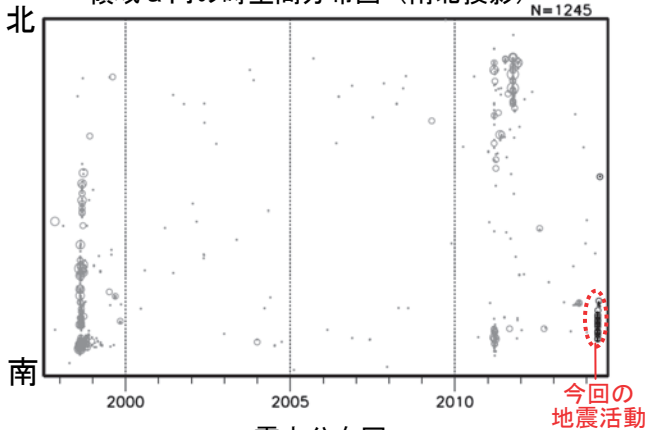
5月3日からの岐阜県飛騨地方から長野県中部にかけての地震活動 (岐阜・長野県境の地震活動)

震央分布図
(1997年10月1日～2014年5月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
2014年5月の地震を濃く表示

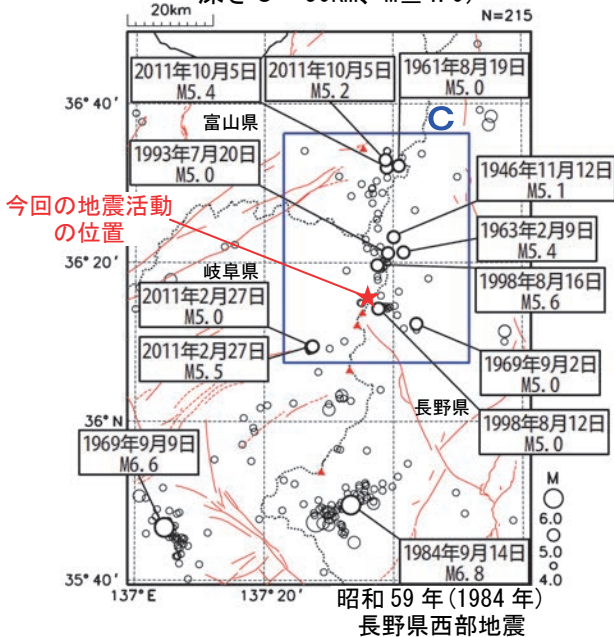


図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

領域 a 内の時空間分布図（南北投影）



震央分布図
(1923年1月1日～2014年5月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$)



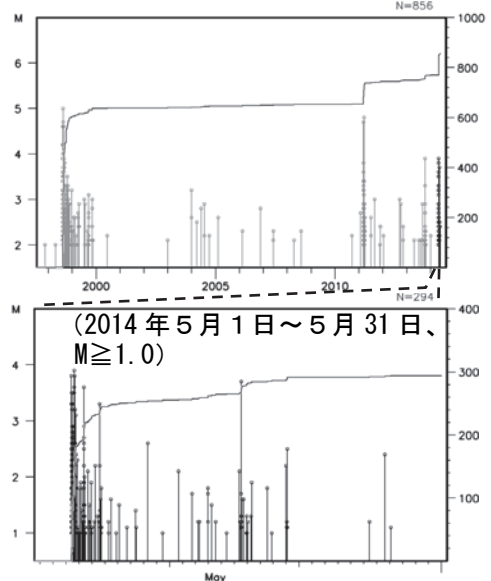
図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

2014年5月3日10時頃から、岐阜県飛騨地方から長野県中部にかけて（岐阜・長野県境）、地震活動が活発となり、震度1以上を観測する地震が47回発生した（31日現在、最大震度3：9回、最大震度2：9回、最大震度1：29回）。この活動は5月6日以降低調である。この活動は地殻内で発生した。5月の最大規模の地震は、3日15時26分に深さ3kmで発生した $M 3.9$ の地震（最大震度3）である。この地震の発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

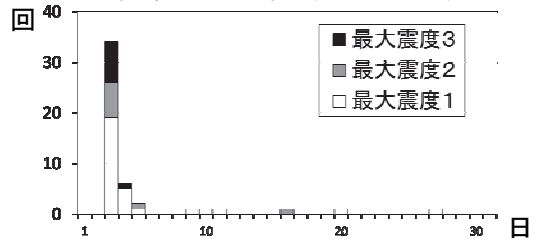
1997年10月以降の活動を見ると、今回の活動の周辺（領域 a）では、1998年8月～10月（長野・岐阜県境、最大震度5弱）、2011年3月（岐阜県飛騨地方、最大震度4）、2011年10月（富山県東部、最大震度4）にまとまった活動があった。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、 $M 5$ クラスの地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



今回の地震活動で震度1以上を観測した地震の日別回数（2014年5月1日～5月31日）



領域 c 内の M-T 図

